# 特 別 活 動

## 1　改訂の基本方針

平成２０年１月の中央教育審議会の答申で示された特別活動の改善の基本方針を踏まえて、次のような基本的な考え方に基づいて改訂された。

**改善の基本方針**
① よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成を重視するとともに、道徳的実践の指導の充実を図る観点から、目標や内容を見直す。
② 各内容のねらいと意義を明確にするため、各内容に係る活動を通して育てたい態度や能力を、特別活動の全体目標を受けて各内容の目標として示す。
③ 生徒の実態に適切に対応するため、生徒の発達の段階や課題に即した内容を示す。
④ 好ましい人間関係を築き社会性を育成するための体験活動や、生活を改善する話合い活動、多様な異年齢の子どもたちからなる集団による活動を一層重視する。
⑤ 生徒の資質や能力の育成に十分つながるよう、特別活動の全体計画と各内容の年間指導計画を作成して指導の充実を図る。

### (1) 各活動・学校行事の目標の明確化

特別活動の全体目標を受けて、特別活動の各活動（ホームルーム活動、生徒会活動）及び学校行事のねらいと意義を明確にした目標がそれぞれ示された。その際、よりよい人間関係を築く力、集団や社会の一員としてよりよい生活づくりに参画する態度の育成を特に重視することとなった。

### (2) 体験活動の一層の充実

特別活動においては、従来から各種の体験的な活動が重視されてきたが、今回、生徒の発達段階を考慮して社会参画にかかわる内容をより充実させ、ボランティア活動や就業体験などの体験活動を一層推進することとされた。

### (3) 言語活動の充実・活用の重視

体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するとともに、学校生活等を築き、それらを充実・向上させるための話合い活動を更に充実することとされた。

### (4) 社会的な自立を目指した在り方生き方の指導の重視

社会において自立的に生きることができるようにするため、社会の一員としての自己の生き方を探求するなど、人間としての在り方生き方の指導が行われるようにすることが特に重視された。

### (5) 共通に取り扱うべき内容の明示と学校の創意工夫の尊重

ホームルーム活動や生徒会活動の内容については、すべての学校で共通に取り扱うべき内容であり、学校や学科の特色や生徒の実態などに応じた学校の創意工夫を生かし、入学から卒業までを見通して取り扱うものであることが明示された。また、各活動においては、取り上げる指導内容の重点化を図るとともに、必要に応じて内容間の関連や統合を図ったり、他の内容を加えたりすることができることが明確にされた。

## 2　主な改訂事項

### (1) 目標

特別活動が、望ましい集団活動や体験的な活動を通して、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる教育活動であることをより一層明確にするために、目標に「人間関係」が加えられ、次のように示された。

> 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

### (2) 内容

各活動及び学校行事のねらいと意義が明確にした目標がそれぞれ新たに示された。

**〔ホームルーム活動〕**

**ホームルーム活動の目標**
ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

→

**ホームルーム活動の内容**
①ホームルームや学校の生活づくり
②適応と成長及び健康安全
③学業と進路

目標においては、特に、よりよい人間関係を築く力、協力してホームルームや学校の生活の充実・向上を図るとともに、生徒が当面する課題に主体的にかかわる態度の育成が重視された。

また、活動内容について、３つの内容に整理するとともに、社会的な自立を目指す教育活動を充実する観点から、活動内容の例示に「規律ある」という文言や「働くこと」という文言が加えられるなど、内容項目の改善が図られた。

**〔生徒会活動〕**

**生徒会活動の目標**
生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

→

**生徒会活動の内容**
①生徒会の計画や運営
②異年齢集団による交流
③生徒の諸活動についての連絡調整
④学校行事への協力
⑤ボランティア活動などの社会参加

目標においては、特に、よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成が重視された。

また、活動内容について、５点示され、活動の内容が明確にされるとともに、生徒の自発的、自治的な活動の充実を図ることが求められた。

**〔学校行事〕**

**学校行事の目標**
学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

→

**学校行事の種類**
①儀式的行事
②文化的行事
③健康安全・体育的行事
④旅行・集団宿泊的行事
⑤勤労生産・奉仕的行事

目標においては、特に、よりよい人間関係を築く力、公共の精神を養うこと、社会性の育成を図ることが重視された。

学校行事の内容については、社会的自立を一層進める観点から「勤労生産・奉仕的行事」については、就業体験を重視するとともに、奉仕体験の意義が明確にされた。

また、本物の文化や芸術に触れたり鑑賞したりする活動、文化の継承、創造に寄与する活動などを充実する観点から、「学芸的行事」が「文化的行事」に改められた。

## 3　指導計画の作成と内容の取扱い

### (1) 特別活動の全体計画の作成

「特別活動の全体計画」とは、特別活動の目標を調和的かつ効果的に達成するために各学校が作成する、特別活動の全体の指導計画のことである。この「特別活動の全体計画」には、特別活動の重点目標、各活動・学校行事の内容等を示し、さらに教師の適切な指導の下に生徒の自主的・実践的な活動が促進されるよう、各教科・科目や総合的な学習の時間との関連、生徒指導の機能との関連を明確にしておくことが求められる。

### (2) 全体計画（例）

**北海道〇〇〇高等学校「特別活動の全体計画」**

**【北海道教育推進計画】**
〇豊かな感性を育む教育と道徳教育の充実
〇体験的な活動の充実
〇生徒指導・教育相談の充実
〇人権教育・男女平等教育の充実

**【学校教育目標】**
(1)誇りを持って学び、心身共に健全な人を育てる。
(2)創造性を養い、社会の発展に寄与する人を育てる。
(3)文化と伝統を尊重し、平和を希求する人を育てる。

**【関係法令等】**
〇日本国憲法
〇教育基本法
〇学校教育法
〇学習指導要領及び学習指導要領解説（文部科学省）
〇高等学校教育課程編成・実施の手引（道教委）

**【特別活動の重点目標】**
(1)集団や社会の一員として、よりよい生活や人間関係づくりに積極的に取り組む生徒を育成する。
(2)集団や社会の一員として、自己の生き方を探究するとともに、人間としての在り方生き方について自覚を深め、将来にわたって自己実現を図る活動に積極的に取り組む生徒を育成する。

**【保護者・地域の要望】**
〇将来、社会人として自立するために、自分の夢や希望に向かって挑戦しつつ、成長してほしい。
〇規範意識や公正な判断力を身に付け、自分を律したくましく生きる力を身に付けてほしい。

**【生徒の実態】**
〇規範意識や倫理観が十分に身に付いていない。
〇人間関係が希薄で、コミュニケーション能力が未発達である。
〇自己肯定感が低く、慢性的な疲れや安易にあきらめる傾向が見られる。

**【ホームルーム活動の内容】**
(1)ホームルームや学校の生活づくり
・集団の一員として、役割と責任を果たし、互いによさを認める「望ましい人間関係」を育てる。
・生活の中で起こる様々な課題を解決していこうとする「自主的、実践的な態度」を育てる。
・社会的自立に向けて、集団や社会の一員としての在り方や主体的に物事を選択決定できる「健全な生活態度」を育てる。
(2)適応と成長及び健康安全
・健全な生活態度や、規律ある習慣の形成を図る資質や能力を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、社会の中で自己を正しく生かす能力や態度を育てる。
(3)学業と進路
・自ら進んで学習に取り組む意欲や、自己の個性や学習の成果を生かす進路を、自らの意志と責任で選択する能力や態度を育てる。

**【生徒会活動の内容】**
(1)生徒会の計画や運営
・生徒会活動を通して、学校生活における規律や、よりよい校風を確立するなど、学校生活の充実や向上をめざす実践的な態度を育てる。
(2)異年齢集団による交流
・ホームルームや学年を超えた生徒相互の心の交流を図り、全生徒の間に所属感や連帯感を高める。
(3)生徒の諸活動についての連絡調整
・ホームルーム活動が活性化されるよう、生徒会の連絡調整機能を援助し、生徒会活動に対する生徒の関心・意欲を高める。
(4)学校行事への協力
・生徒が学校行事の趣旨を理解し、諸行事に参加・協力することにより、生徒会活動における役割について自覚や責任感を培う。
(5)ボランティア活動などの社会参画
・ボランティア活動や地域の人々との交流行事に参加することで、人間性を養い、自己実現の力を育む。

**【学校行事の内容】**
(1)儀式的行事
・儀式を通して集団の場における規律や気品ある態度を育て、公共の精神を養う。
(2)文化的行事
・豊かな情操を養い、生涯にわたり文化や芸術に親しみ、その継承や創造に寄与する態度や能力を育てる。
(3)健康安全・体育的行事
・自主的・自律的に健康で安全な生活を送る意欲や態度、自他の生命を尊重し、心身の健康や安全を確保するための適正な判断力や対処する能力を育てる。
(4)旅行・集団宿泊的行事
・集団行動を通して自律心を養い、自主的に集団の規律や秩序を守る態度を育成する。
(5)勤労生産・奉仕的行事
・社会奉仕の精神を身に付け、将来の社会人として自立していくための態度や能力を育てる。

**【各教科・科目や総合的な学習の時間との関連】**
・各教科・科目や総合的な学習の時間などで育成された能力と特別活動で培われた実践的な態度や能力とを相互に関連させ、それぞれの学習活動を補い合い、学校教育目標の達成を目指す。

**【生徒指導の機能との関連】**
・生徒指導の機能が有効に働くように、特別活動において共感的な人間関係を育成し、生徒に自己決定の場や機会をより多く用意し、生徒が自己実現の喜びを味わうことができるよう指導上の配慮を行う。
・特別活動の指導を、計画的・継続的な教育相談などの個別場面における指導でも展開し、生徒指導のねらいである自己指導能力や自己実現のための態度や能力を育成する。

### (3) 内容の取扱いについての配慮事項

内容の取扱いについての配慮事項をまとめると、次のようになる。

| 項　目 | 観　　点 | 配　　慮　　事　　項 |
|---|---|---|
| 指導計画の作成 | 全体計画と年間指導計画の作成 | ①学校の創意工夫を生かすこと<br>②学校の実態や生徒の発達の段階及び特性等を考慮すること<br>③生徒による自主的、実践的な活動が助長されるようにすること<br>④各教科・科目や総合的な学習の時間などの指導との関連を図ること<br>⑤家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫すること<br>⑥特別活動の授業時数の配当については、年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てるなどして、全体計画を作成すること |
| | 生徒指導の機能 | ①生徒指導の機能を十分に生かすこと<br>②家庭との連絡を密にした教育相談（進路指導を含む。）を適切に実施できるようにすること |
| | ガイダンスの機能 | ①学校生活への適応に役立てること<br>②人間関係の形成に役立てること<br>③教科・科目や進路の選択などの指導に役立てること<br>④特に、高校入学当初においては、個々の生徒が学校生活に適応するとともに、希望と目標をもって生活できるよう工夫すること |
| | 社会的自立人間としての在り方生き方 | ①ホームルーム活動を中心に行うこと<br>②特別活動の全体を通じて行われるようにすること<br>③公民科や総合的な学習の時間との関連を重視し、その学習の成果を生かすこと |
| 内容の取扱い | ホームルーム活動 | ①指導内容の特質に応じて、教師の適切な指導の下に、生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにすること<br>②内容相互の関連を図るようにすること<br>③よりよい生活を築くための諸活動を充実させること<br>④学校や地域及び生徒の実態に応じて、指導内容の重点化を図ること<br>⑤入学から卒業までを見通して、内容間の関連や統合を図ること<br>⑥個々の生徒についての理解を深め、信頼関係を基礎に指導を行うこと |
| | 生徒会活動 | ①指導内容の特質に応じて、教師の適切な指導の下に、生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにすること<br>②内容相互の関連を図るようにすること<br>③よりよい生活を築くための諸活動を充実させること<br>④学校や地域及び生徒の実態に応じて、指導内容の重点化を図ること<br>⑤入学から卒業までを見通して、内容間の関連や統合を図ること |
| | 学校行事 | ①学校や地域及び生徒の実態に応じて、各種類ごとに、行事及びその内容を重点化すること<br>②入学から卒業までを見通して、行事間の関連や統合を図り精選すること<br>③地域の人々との交流を図る行事を工夫すること<br>④自然体験や社会体験などの体験活動を充実すること<br>⑤体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりする活動を充実すること |
| | 学校給食 | 実施の場合は、特別活動の一環として食育の観点を踏まえた適切な指導を行うこと |
| 国旗・国歌 | 入学式や卒業式など | 国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう指導すること |
| 担当教師 | ホームルーム活動 | ①教師と生徒及び生徒相互の人間的な触れ合いを基盤とする指導であること<br>②生徒の問題を生徒と共に考え、共に歩もうとする教師の態度が大切であること<br>③生徒に接する際には、常に暖かな態度を保持し、公平かつ受容的で、生徒に信頼される教師であること<br>④教師の教育的な識見と適正な判断力を生かすとともに、問題によっては毅然とした態度で指導に当たる必要があること。<br>⑤生徒の自主的、実践的な活動を助長し、常に生徒自身による創意工夫を引き出すように指導すること<br>⑥人間尊重の精神に基づいて生徒が望ましい人間関係を築くよう指導に努めること |

## 4　質疑応答

| |
|---|
| 問１　ホームルームでの主な活動内容及びその指導に当たっての配慮事項は何か。 |

ホームルーム活動の内容については、①ホームルームや学校の生活づくり、②適応と成長及び健康安全、③学業と進路の三つの内容から整理するとともに、社会的な自立を目指す教育活動を充実する観点から、内容項目の改善を図った。

ホームルームは、学校における家庭であるといわれる。一人一人の生徒にとって、ホームルームがそのような役割を果たすためには、様々なホームルーム活動を通して、教師と生徒との信頼関係及び生徒相互の望ましい人間関係を育て、精神的に支え合うとともに、生徒が互いに向上していく集団の育成を目指すことが大切である。こうした観点に立って、教師は、生徒に対して愛情をもって公平に接し、個々の生徒についての理解を深めながら指導・援助を進めることが重要である。

ホームルーム活動の指導に際しては、次の事項に留意することが必要である。

(1) 指導内容の特質に応じて、教師の適切な指導の下に、生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにする
(2) よりよい生活を築くための諸活動の充実
(3) 指導内容の重点化と内容間の統合などの工夫

| |
|---|
| 問２　生徒会活動での主な活動内容及びその指導に当たっての配慮事項は何か。 |

生徒会活動の内容については、①生徒会の計画や運営、②異年齢集団による交流、③生徒の諸活動についての連絡調整、④学校行事への協力、⑤ボランティア活動などの社会参画の五つを示した。

生徒会活動は、「学校の全生徒をもって組織する生徒会において」と示しているとおり、全生徒が協力し合って目標の達成を図り成果を生み出していく活動である。その活動内容としては、生徒会の組織づくりや運営などの活動はもとより、異年齢集団における交流や実践的な活動、ホームルーム活動や部活動など生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動、学校行事の企画・運営に協力する活動、さらにボランティア活動など学校外での社会参画も含め、生徒の学校生活全体の充実・向上にかかわる多様な活動内容が挙げられる。これらの活動内容は相互に関連し合っているが、また、ホームルーム活動や学校行事などの活動内容とも深く関連している。その点を踏まえ、特別活動の内容相互の関連を図って、充実した生徒会活動を進めていくことが必要である。

生徒会活動の指導に際しては、次の事項に留意することが必要である。

(1) 指導内容の特質に応じて，教師の適切な指導の下に，生徒の自発的，自治的な活動が効果的に展開されるようにする
(2) 内容相互の関連を図るようにする
(3) よりよい生活を築くための諸活動の充実
(4) 指導内容の重点化とともに，内容間の関連や統合を図る

問３　学校行事での主な活動内容及びその指導に当たっての配慮事項は何か。

学校行事の内容については、①儀式的行事、②文化的行事、③健康安全・体育的行事、④旅行・集団宿泊的行事、⑤勤労生産・奉仕的行事の５種類を示した。

学校行事は、全校若しくは学年又はそれらに準ずる比較的大きな集団の中で、生徒の積極的な参加による体験的な活動を行うことによって、学校生活に秩序と変化を与え、全校及び学年集団への所属感や連帯感を深め、日常の学習の総合的な発展を図るとともに、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うものである。この「体験的な活動」、あるいは「学校生活に秩序と変化を与え」は、他の教育活動では容易に得られない教育的価値を実現する場としての学校行事の特質を述べたものである。これは、ともすると単調になりがちな学校生活に望ましい秩序と変化を与える学校行事を、年間を通して計画的に実施することによって、生徒の学校生活にリズムを与え、折り目を付け、より生き生きとした生活を実現するのである。さらに、このような学校行事の体験を積み重ねることによって、「集団への所属感や連帯感を深め」、「公共の精神を養い」、「学校生活の充実と発展に資する」ことを期待しているのである。この「集団への所属感や連帯感」、「公共の精神」さらに「学校生活の充実と発展」は、学校行事だけで達成できるものではない。学校行事も他の教育活動と相まって高等学校の目標の達成を目指すものである。したがって、学校行事が他の教育活動における学習なり経験なりを総合的に取り入れ、その発展を図り、効果的に展開されるようにする必要がある。また、日常の各教科等の学習を充実したものにすることによって学校行事も成果をあげ、学校教育全体の調和を図り真に学校生活を豊かな実りあるものにするのである。

学校行事の指導に際しては、次の事項に留意することが必要である。

(1) 特色ある学校行事の創意工夫をすること
(2) 各種類ごとの重点化や行事間の関連や統合を図り精選すること
(3) 地域の人々との交流を図る行事を工夫すること
(4) 自然体験や社会体験などの体験活動を充実すること
(5) 体験活動を通して気付いたことなどを振り返り，まとめたり，発表し合ったりする活動を充実すること

問４　ボランティア活動や就業体験など体験的な活動の重要性はどのようなものか。

生徒がボランティア活動など社会奉仕や勤労にかかわる活動を実際に体験する機会が少なくなっていることから、これらの体験的な活動の機会を教育活動に積極的に取り入れることは、高等学校段階の生徒にとって、人間としての在り方生き方を探求し、社会的自立を促す上で極めて大切である。そこで、生徒にボランティア活動などの社会奉仕や、就業体験など勤労にかかわる体験をできるだけ多く得させるように計画し、それを通して、社会貢献や社会参加の意義を正しく理解し、望ましい人間観や勤労観・職業観を身に付け、将来社会人としての自立した生き方ができるよう配慮することが大切である。